

Festina lente

2019 3月号
Highlights
 ・第31回卒業式が行われる。
 ・卒業生アンケート結果公開！
 ・大学入試合格速報！
 ・校内英語ディベート大会開催！

第30回岩田高校卒業式 2018. 3. 1

第31回卒業証書授与式が行われる 1

第31回卒業証書授与式式辞 2
 校長 柳井 修

卒業生対象アンケート 3
 教頭 児玉 洋司

2019年度大学合格速報 4
進路指導主任 池辺 和則 5

6-4卒論発表会 6-4担任 坂上 敦志
校内英語ディベート大会

英語科 矢野 裕美子 6
Web&動画コンテストのご報告
情報科 八木 真也

生徒指導部より
生徒指導主任 野村 哲也 7
ほけんしつから 養護教諭 野村めくみ

強歩大会個人ランキング 8
保護者会教育講演会が実施される

第31回卒業証書授与式が行われる。～卒業生114名～

3月1日(木)第31回卒業証書授与式が本校体育館で行われました。31回生の卒業生は114名、このうち9期生となるAPU立命館コースは30名でした。

式では国歌斉唱の後、生徒一人一人に柳井校長より卒業証書が手渡されました。また来賓の立命館アジア太平洋大学副学長 吉松 秀孝 様と同窓会「樟友会」代表 金谷 能明 様から祝辞をいただきました。

このあと、在校生を代表し高校2年生の白石 真之輔君が送辞を、卒業生を代表して久保 我生君が答辞を述べました。最後は全員で校歌を歌い、卒業生は在校生と職員の手拍子に送られながら式場を後にしました。

《理事長賞》
 西塔 頼, 高野 周, 中丸 桃瑚
 平尾 祥大, 山口 達也, 高野 祥亘
 (以上6名)

《APU立命館コース優秀賞》
 高野 祥亘

《皆勤賞》
 足立 奈々, 井上 悠輝, 小野 麗奈,
 藤松 美南, 山口 浩暉, 吉岡 菜々子
 安藤 賢, 川島 千穂子, 木内 るり
 榊 侑平, 平川 龍一, 小野 有菜
 甲斐 央一朗, 神田 莉子, 清岡 昂弘

才 愛奈, 白石 有沙, 中丸 桃瑚
 廣田 真夕子, 松本 真季, 松尾 海吏
 (以上21名)

《知事賞》
 高野 周
 《日本私立中高連会長賞》
 小野 有菜
 《高校生新聞社賞》
 牧坂 洗平
 《高校生新聞社賞》
 松尾 海吏
 《大分県私学保護者会長賞》
 (送辞) 白石 真之輔
 (答辞) 久保 我生
 (記念品目録贈呈) 中丸 桃瑚
 (保護者謝辞) 松本 智子 様

《来賓》
 立命館アジア太平洋大学 副学長 吉松 秀孝 様
 学校法人立命館一貫教育部副部長 山本 修司 様
 岩田学園同窓会(樟友会)副会長 金谷 能明 様
 岩田学園保護者会会長 津末 法良 様
 岩田学園保護者会副会長 矢野 貴子 様



→ 理事長賞 6名



→ 在校生送辞
 白石 真之輔 さん



→ 卒業生答辞
 久保 我生 さん

学園だより

第31回卒業証書授与式式辞 ～変革期での環境適応能力～

校長 柳井 修

日増しに春の訪れを感じる今日この頃、31回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。岩田高等学校は、本日ここに、平成30年度の卒業生 I W A T A コース84名、A P U 立命館コース30名、計114名にただいま卒業証書を授与いたしました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

本日ここに、第31回卒業式を挙げるにあたり、ご多忙中にもかかわらず、多数のご来賓の皆様方にご臨席を賜ったことを、心から御礼申し上げます。

保護者の皆様には、今日までのこの18年間、様々なご苦勞があったことと推察いたしますが、お子様を支え、育まれてきたことに対して敬意を表するとともに、これまで本校にご協力、ご支援いただきましたことを、心より感謝申し上げます。

岩田で学んだものを糧に、希望に満ちて旅立たれる皆さんをお送りすることは、私も教職員にとって、最上の喜びであります。

さて、卒業式は、学校生活を思い起こし、在学中の様々な出来事を改めて振り返る機会でもあります。I W A T A コース、A P U 立命館コースの生徒共々入学以来、学業はもとより、部活動や生徒会活動、学校行事に熱心に取り組み、本校の校風と伝統を受け継ぎ、守ってきました。決して楽な日々ではなかったと思います。楽しかったことや辛かったこと、多くの思い出が、今この時でも、視線を移すたびによみがえってくるのではないのでしょうか。一昨年の体育大会では7年ぶりに南軍が優勝し、多くの生徒が涙した感動的なフィナーレでした。そして第35回学園祭。テーマは『やってみよう』というものでした。パンフレットの冒頭には生徒会長の久保我生君のメッセージに「何事も無理と言わず、とにかくやってみて欲しい。」と書かれてあります。すばらしい学園祭、すばらしい時間でした。

私は、君たちの光り輝く姿を見たあの時、ふと先代の理事長である岩田英二先生の言葉を思い出しました。岩田英二先生は入学式の時、「学校になぜ通うのか？」それは「自分は何者であるか。」ということを知るためであるという話をよくされておられました。

「自分は何者か」を知るためには、そもそもなぜ自分が存在するのかということを考えなければなりません。そのためには、

人類の誕生、地球や宇宙のことまで考えなければなりません。そして、自分が存在する自然界の法則や、人間としての生物学的な側面だけでなく、人類の文化的な背景や歴史を知る必要があります。学校で学ぶあらゆる科目や事柄が「自分は何者か」を知ることにつながります。そして、その学びの中で、親や兄弟、友人など、皆さんを大切にかけがえのない存在であると思っている人達がいるということに気づいたでしょうか。自分の存在を支えてくれる人達がいるということにあらためて感謝しなければならないのです。

君たちが光り輝いていた学園祭や体育祭などの学校行事、部活動、夏季訓練、修学旅行など様々な経験が、「自分はどうか生きるか」を見つけるヒントになったはずで、いろいろなことにチャレンジし、失敗や成功を体験することで、自分の才能や可能性が少しずつ見えてきたのではないのでしょうか。

今、世の中を見渡しますと、情報化やグローバル化といった社会的変化、とりわけ私たちの身の回りの技術革新やイノベーションは、予測を超えて加速度的に進展するようになってきています。たとえば情報伝達手段はラジオの時代から白黒テレビ、そしてカラーテレビ、ブラウン管から薄型液晶ハイビジョンテレビに至るまで、100年近くかかりました。今や情報伝達手段はインターネットが中心です。通信機器はベルが電話を発明し、電話の時代も100年以上続きました。現在多くの人が使っているスマートフォンはアップルのスティーブジョブズが世に出してからまだ10年しか経っていないのです。教育現場も、教科書や問題集は変わってもその姿は明治時代から100年以上ほとんど変化のない領域でした。本校は、今年度高度ICT教育を県内で初めて導入しました。下の学年は黒板が大型モニターとなり、ノートや教科書がスマホやiPadとなったのはみなさんも知っていると思います。全教室にWifiが完備され、後輩たちの授業スタイルは君たちとはずいぶん変わりました。変化の産声を上げた学校も他の分野と同じように、ここからは加速度的に変貌していくことになるでしょう。

しかしながら、あなたたちは、生まれたときからその激変の中で成長しており、過去を知る私たちの世代ほど驚いてはいないかもしれません。変化を拒む者が多い我々の

世代に比べ環境適応能力は確実に備わっていると考えられます。しかし、いかに進化した人工知能でも 与えられた目的の範囲内で処理を行うのであり、皆さんには、人間としての感性を働かせながら、どのような未来を創っていくのかを考えていくという大きな課題が与えられています。現在ある富や自然の恵みを使い尽くすことなく、社会を健全な状態で次の世代に引き継いでいくための知恵と行動が求められています。

最後に私の大好きな作家司馬遼太郎さんが書いた「二十一世紀に生きる君たちへ」というエッセーを饒の言葉といたします。(抜粋)

○私は、人という文字を見るとき、しばしば感動する。ななめの画がたがいに支え合って、構成されているのである。自然物としての人間は、決して孤立して生きるようには、創られていないのである。助け合うという気持ちや行動のものは、いたわりという感情である。他人の痛みを感じるという言い。やさしさと言い換えてもいい。

○私は、君たちは自己を確立せよと言った。自分に厳しく、相手にはやさしく、とも言った。それらを訓練せよ、とも言った。それらを訓練することで、自己が確立されていく。そして、たのもし君たちになっていく。

○私が持っていないで、君たちだけが持っている大きなものがある。それは未来というものである。

君たち。君たちはつねに晴れ上がった空のように、たかだかとした心を持たねばならない。同時に、ずっしりとたくましい足どりで、大地をふみしめつつ歩かねばならない。私は、君たちの未来が、真夏の太陽のようにかがやいているように感じた。

今日はゴールでありスタートでもあります。新たな第一歩を踏み出そうとする君たち31回生。本校のモットーは「Festina Lente」「ゆっくり急げ」です。可能性を現実にする力は、君達の中にこの岩田で必ず培われています。

平成最後となる卒業生の31回生諸君が、多くの人と出会い、成長し続け、新しい時代を切り開く原動力となっていくことを心から祈り、式辞といたします。

本日はご卒業、本当におめでとうございます。



卒業生対象アンケート ～輝ける未来へ巣立った114名～

★岩田学園に入学してどのようなことがよかったですか。(いくつでも可)	31回生			
	女	男	合計	%
a 学習意欲・向上心がわいた点	6	14	20	19%
b 公共心・礼儀がついた点	0	7	7	7%
c 出会った先生	14	18	32	30%
d 受け持たれたクラス担任	5	16	21	20%
e 卒業後の進路	17	20	37	35%
f 生活指導	1	0	1	1%
g 部活動などの課外活動	12	21	33	31%
h 学園祭などの学校行事	22	21	43	40%
i 出会った友人	33	45	78	73%
J 通学時間・距離	5	12	17	16%
k その他	6	14	20	19%

★総じてこの学校に来てよかったですか。	31回生			
	女	男	合計	%
a 思う	14	20	34	32%
b まあまあ思う	18	34	52	49%
c まあまあ思わない	9	3	12	11%
d 思わない	4	5	9	8%

2月28日(木)卒業式前日に卒業生(114名)を対象にアンケートを実施しました。受験等公欠の生徒を除いた107名が回答しました。それによると、「**岩田がよかったと思う・まあまあ思う**」が**81%**、と大変高く、嬉しい数字となっています。

その理由として一番多かったのは、「**出会った友人(73%)**」でした。毎年この項目が一番多く、卒業後の絆につながっていると感じます。「出会った友人」や「出会った先生」で得たものは、今後の人生に大きな財産となることでしょう。

男女別データの比較は左表をご覧ください。

学校としては、「好結果＝指導が十分だった＝保護者の満足」などと安易に結びつけず、真摯に今後の学校運営へといかしていきます。

今後もますます卒業生時に、満足度の高い学校になるように努力してまいります。



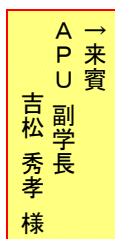
↑ 校長式辞 ※前ページに全文を掲載



← 来賓
金谷能明様
同窓会代表



← 保護者代表謝辞
松本智子様



→ 来賓
APU 副学長
吉松秀孝様



→ 記念品目録
中丸桃瑚さん



↑ 大分県知事賞
高野 周 さん



↑ APU立命館コース優秀賞
高野 祥亘 さん



↑ 日本私立中高連会長賞
小野 有菜 さん



↑ 高校生新聞社賞
牧坂 洸平 さん



↑ 大分県私学保護者会長賞
松尾 海吏 さん

2019年度大学入試合格速報 ~3月11日現在~ 31回生114名

岩田高校

東京大学（文科一類）、九州大学、横浜国立大学、大分大学（医）2名合格！

医・歯・薬・獣医に計42名の合格！（ただし、看護・医療系を除く）

3月6日から10日にかけて、国公立大学前期試験の合格発表が行われました。現時点で判明している本校の大学合格者数についてご報告いたします。

国公立大学ですが、**東京大学**、**大分大学の医学部医学科**をはじめ、**横浜国立大学**、**広島大学**、**九州大学**、**熊本大学**等、現在のところ、合

格者数は14名となっています。

今年のセンター試験では平均点が上がり、かなりハイレベルな戦いとなりました。本校を含めて強気の出願が増えましたので思うような結果が出せていない生徒もいますが、センター高得点者も多くおり、後期試験に備えて進路指導室などに集まり懸命に努力を重ねていましたの

で、今後の吉報も期待できるものと思っています。

一方、私立大学では、早慶上理をはじめとする難関大学に多数の合格者を出すことができませんでした。私立大学の合格者数は149名となっています。今年度の最終的な集計データは、新年度の『樟風』などでご報告させていただきます。

国公立大学

室蘭工業大 (理工)
電気通信大 (情報理工)
東京大 (文科一類)
横浜国立大 (経営 経営)
岡山大 (農 総合農業科学)
広島大 (工 第二類)
九州大 (農 生物資源環境)
熊本大 (工 材料・応用化学)
大分大 (経済)
大分大 (医 医)
大分大 (医 医)
宮崎大 (農 獣医)
鹿児島大 (歯 歯)
山陽小野田市立山口東京理科大 (工)

明海大 (歯 歯)
明海大 (歯 歯)
麻布
亜細亜大 (経済 経済)
青山学院大 (法 法)
桜美林大 (グローバル・コミュ)
桜美林大 (リベラルアーツ)
北里大 (獣医 獣医)
北里大 (獣医 獣医)
北里大 (医 医)
北里大 (薬 薬)
慶應義塾大 (法 法律)
慶應義塾大 (経済 経済)
慶應義塾大 (経済 経済)
慶應義塾大 (理工 学門2)
白百合女子大 (文 英文)

芝浦工業大 (工 電気工)
上智大 (経済 経営)
専修大 (商 マーケティング)
中央大 (法 法律)
中央大 (経済 経済)
東京工科大 (作業療法)
東京理科大 (経営 ビジネス)
東京理科大 (理工 応用生物)

東京理科大 (基礎工 生物工)
日本大 (生物資源科学 獣医)
日本大 (薬 薬)
日本歯科大 (新潟生命歯 歯)
日本歯科大 (新潟生命歯 歯)
日本女子大 (理 物質生物科学)
法政大 (法 政治)
法政大 (経済 経済)
法政大 (理工 電気電子工)
明治大 (理工 応用化学)
明治大 (理工 電気)
明治学院大 (経済 経済)
明治学院大 (経済 経済)
立教大 (法 政治)
早稲田大 (教育 社会)
早稲田大 (法)
早稲田大 (政治経済 経済)
早稲田大 (政治経済 経済)
早稲田大 (政治経済 国際政経)
早稲田大 (商)
朝日大 (歯 歯)
京都精華大 (マンガ)
同志社大 (生命医科学 医情報)
立命館大 (文 地域研究)

立命館大 (総合心理 総合心理)
立命館大 (国際関係 国際関係)
立命館大 (法 法)
立命館大 (法 法)
立命館大 (経済 経済)
立命館大 (経営 経営)
立命館大 (食マネジメント)
立命館大 (理工 電気電子工)
立命館大 (理工 電気電子工)
立命館大 (理工 電気電子工)
立命館大 (理工 電気電子工)
立命館大 (理工 ロボティクス)
立命館大 (理工 建築都市)
立命館大 (生命科学 生物工)
立命館大 (情報理工 情報理工)
立命館大 (薬 薬)
立命館大 (薬 創薬科学)
立命館大 (映像 映像)
龍谷大 (農 資源生物科学)
大阪工業大 (工 生命工)
大阪大谷大 (薬 薬)
近畿大 (工 ロボティクス)
近畿大 (工 機械工)
近畿大 (工 機械工)

私立大学

酪農学園大 (獣医 獣医)
酪農学園大 (獣医 獣医)
国際医療福祉大 (薬 薬)
国際医療福祉大 (医学検査)
国際医療福祉大 (医療福祉)
明海大 (歯 歯)
明海大 (歯 歯)



近畿大 (工 情報)	九州共立大 (経済 地域創造)	福岡大 (薬 薬)	APU (国際経営 国際経営)
近畿大 (産業理工 電気電子工)	九州産業大 (経済 経済)	福岡歯科大 (口腔歯 口腔歯)	APU (国際経営 国際経営)
近畿大 (理工 生命科学)	久留米大 (医 医)	長崎国際大 (薬 薬)	APU (国際経営 国際経営)
近畿大 (理工 生命科学)	西南学院大 (文 英語)	長崎国際大 (薬 薬)	APU (国際経営 国際経営)
近畿大 (理工 情報)	西南学院大 (法 法律)	崇城大 (生物生命 応微)	APU (国際経営 国際経営)
近畿大 (理工 情報)	西南学院大 (経済 経済)	崇城大 (薬 薬)	APU (国際経営 国際経営)
近畿大 (農 農業生産科学)	西南学院大 (経済 経済)	崇城大 (薬 薬)	APU (国際経営 国際経営)
近畿大 (農 応用生命化学)	西南学院大 (商 経営)	崇城大 (薬 薬)	APU (国際経営 国際経営)
近畿大 (農 環境管理)	第一薬科大 (薬 漢方薬)	崇城大 (情報 情報)	APU (国際経営 国際経営)
近畿大 (農 環境管理)	福岡大 (経済 経済)	APU (アジア太平洋)	APU (国際経営 国際経営)
近畿大 (農 環境管理)	福岡大 (商 商)	APU (アジア太平洋)	APU (国際経営 国際経営)
近畿大 (薬 医療薬)	福岡大 (商 商)	APU (アジア太平洋)	APU (国際経営 国際経営)
近畿大 (薬 医療薬)	福岡大 (商 経営)	APU (アジア太平洋)	APU (国際経営 国際経営)
近畿大 (薬 医療薬)	福岡大 (工 電子情報工)	APU (アジア太平洋)	九州保健福祉大 (グローバル)
近畿大 (薬 医療薬)	福岡大 (医 医)	APU (アジア太平洋)	九州保健福祉大 (薬 薬)
関西学院大 (理工 化学)	福岡大 (医 医)	APU (アジア太平洋)	九州保健福祉大 (薬 薬)
畿央大 (教育 現代教育)	福岡大 (薬 薬)	APU (アジア太平洋)	
安田女子大 (文 書道)	福岡大 (薬 薬)	APU (アジア太平洋)	

1年生1月 進研模試 求められる得点

国公立大 (国数英300点満点)	得点(300点満点)	得点率
東京大、京都大 全国国公立医学科	210点以上	約70%
難関国公立大 (一橋大・東工大・旧帝大)	180点以上	約60%
国公立ブロック大 (千葉大・横浜国立大)	170点以上	約56%
地元国立大	150点以上	約50%
全国平均点 (全国偏差値50)	118.3点	約39%

APUコースの高校3年生は毎年、英語科のデイビッド先生指導の下、各自の興味がある分野について書籍やインターネットの記事を調べたり、アンケート調査でデータを集め、それを元に考察したことを英語で卒業論文として執筆しております。その内容は多種多様で、今年も「スマートフォン中毒」や「同性婚」といった社会問題を取り上げたものなど、非常にバラエティ豊かな論文ができあがりました。

そして岩田高校における三年間の学習の集大成として、2月2

1日(木)と22日(金)の二日間、本校4号館大講義室にて卒業論文発表会が行われました。今年は発表者の人数が多く、コース開設以来初めて二日に分けて開催しましたが、多くの保護者や先生方にも御観覧頂き、非常に充実した発表会となりました。

高校3年生にはこの経験を大学での研究活動に活かしてくれることを期待すると同時に、高校1・2年生には今回の発表会を今後の学習活動の参考にして、新学期からも頑張ってもらいたいと思います。

第10回 校内英語ディベート大会が行われました

英語科 矢野 裕美子

2/19(火)第10回校内英語ディベート大会が行われました。

授業で英語ディベートをしているAPUコース4-4、5-4とIWATAコース医進クラスの5年生、応用クラス4年生の最終戦が大講義室で行われました。3学期の授業で、各クラスで4人ずつのチームを作り、『This house believes it is best to express love face-to-face. (愛の告白は面と向かってするのが一番良い方法だと、私たちは考える)』のトピックのもと、各クラス、そして各コース内で勝ち残ったそれぞれ2チームが出場しました。各クラスのクラスメートも見守るなか、試合は行われました。

大分大会で優勝、そして九州大会・全国大会に出場した生徒もいて全国レベルの力を発揮し、またそれに対戦するチームとの白熱する試合が続きました。各チームともこの日に向けてアンケー

ト調査を実施したり、証拠となるデータを探したりと、努力に努力を重ねて準備をした結果を見せつけてくれました。

最後にデービット先生より順位とベストディベーター賞が発表されました。参観した生徒にも大変良い刺激になったと思います。

第1位 Team Purple(5-4) 關まこ、田畑真和、武生愛理、後藤はる

第2位 Team Snowman(5-3) 清水優里菜、山村遙花、荻桃菜、秦知優

第3位 Team 1(4-4) David Menzel、小林陽人、今里晶士、河原礼徳

第4位 Team Mr. White(5-3) 福島遼太郎、米野弘敬、佐藤璃音、

中丸和哉、石井良治

ベストディベーター賞 David Menzel (4-4)

※8ページに写真を掲載しています。ご覧下さい。

岩田生がWebや動画のコンテストで全国上位入賞!

情報科 八木 真也

◆全国中学高校Webコンテスト

特定非営利活動法人学校インターネット教育推進協会が主催する第21回(2018年度)全国中学高校Webコンテストが行われ、本校の高校2年生の作品が全国で上位入賞しました。

本校では例年、高2「情報」の授業の一貫(情報のデジタル化・知的財産権・情報の収集と発信等の複合課題)としてWEBページの制作を行っております。課題導入当初は学校の中だけでの制作でしたが、23回生の学年より、学校の許可を得て「全日本中学高校Webコンテスト」に準じた課題の内容とし、上位5作品をコンテストに出品しております。

昨年度は私学研修会でも取り組みを発表させていただき、県の情報部会からも依頼があり取り組みを発表いたしました。協働学習、アクティブラーニング、STEAM教育としての側面もありひそかに注目を集めているようです。

今年度は出品5作品(チーム)のうち、全てのチームが一次審査通過(トップ50入賞)。そのうち2チームがセミファイナル進出、そして代表1のチームが見事ファイナリストとなり、東京での表彰式に参加してきました。結果は銀賞(8~10位グループ)ということで、本人たちは少し残念な気持ちもあったかと思いますが、全国の高校約250チーム参加のなかからの上位10チームです。大健闘だったと思います。

上位入賞の他校はいずれも常連校であり、学校を挙げて問題解決学習に取り組んでいるお茶の水女子や芝浦工大柏、部活での参加で毎年ほぼ固定メンバーで参加してくる慶応義塾などの“強豪校”との間にはかなり力の差を感じました。しかし、そういった他校と競うことが良い刺激になってくれればと思います。

代表1 ⇒ ファイナル進出! 銀賞受賞!!

5-1-C 「Animal Essencial」 渡邊 広希、日野 継志
清永 颯太郎、大津留 悠揮

代表2 ⇒ セミファイナル進出!

5-3-D 「大友宗麟〜豊後を巡る〜」 米野 弘敬、石井 良治
永松 駿人、福島 遼太郎、佐藤 璃音

代表3 ⇒ 入賞(トップ50)

5-3-B 「Knowing SNS - Social Networking Site」 荻 桃菜
清水 優里菜、山村 遥花、小西 凜花、秦 知優

代表4 ⇒ 入賞(トップ50)

5-3-G 「日本の国際的な緊急医療支援について」 中丸 和哉
近森 優樹、平松 燦哉、工藤 周真

代表5 ⇒ 入賞(トップ50)

5-2-A 「HOTけない暑さ」 衛藤 太我 菅野 航世
神田 大地 白石 真之輔 河野 信寛

このコンテストの結果は、以下のサイトで見ることができます。
<http://webcon.japias.jp/21tqj-judgeresult1.html>

◆20歳▶18歳 成年年齢引き下げ動画コンテスト

高2は3学期の情報の授業で、動画制作の実習をおこなってききましたが、法務省が主催している「成年年齢引き下げ動画コンテスト」には是非出品をという依頼があり、各チームで制作をして出品をいたしました。その結果、見事2チームが入賞確定となり、最優秀賞(法務大臣賞1名。賞状及び副賞を付与)、優秀賞(法務副大臣賞、法務大臣政務官賞各1名。賞状及び副賞を付与)、入賞(民事局長賞2~3名。賞状を付与)のいずれかの賞に入賞することが決まりました。

(最終的な賞は3月29日の表彰式場で発表されます)

入賞チームは以下の2チームです。

5-4 寺川 西村 後藤里 後藤は 矢野 關 チーム

5-3 川崎 麻生 山村 小西 佐藤 チーム

この大会の公式サイトURLは次の通りです。

https://www.moj.go.jp/MINJI/18years_movie_contest/

高校3年生が本校を巣立ち、学年末考査も終了し、2018年度が終わろうとしています。4月になればそれぞれ学年が一つ上がり、教室が変わったりクラスのメンバーが変わったりして新しい1年の始まりを感じることでしょ。

今回は、そんな新しいスタートの前に、2018年度がどうだったのか？いくつかの項目について簡単に振り返っておきたいと思います。

◆交通安全および交通マナー

2018年度は本校が「自転車マナーアップモデル校」となっていた影響もあったのか、通学中の自転車事故が1年間でたったの4件という驚きの数字でした。登校指導や下校指導をしても、本校の自転車通学生は比較的交通安全ルールを守れているという印象でした。次年度以降も是非ともこの数字を維持していきたいものです。しかし、自転車通学生のマナーが良かった反面、バス利用者のマナーが悪く、度々苦情の電話を受けました。

特に目立つのがバス停でのマナーの悪さであり、大きな声で騒ぐ、お菓子を食べたりジュースを飲んだりしている、道いっばいに広がっている、座り込んでスマホを触っている等があげられます。バス利用者の大半は中学生なので、学年を絞ったうえでのマナー指導の強化を図っていききたいと思います。



◆SNS上での問題行動

2学期に行った全校生徒対象のアンケートでは、SNSのアカウントを持っている生徒が85%を越えていました。生徒のほとんどは、夜になってもラインやインスタグラムで友達と繋がりを持ち、場合によってはあまりよく知らない他学年の生徒同士でも交流を持っています。

今年度発生した問題行動については「写真の無断投稿」や「文章による攻撃」などで、いずれも友達関係にある中での問題行動がほとんどでした。来年度



は全校生徒がiPadをもって生活することになります。SNS上のモラルについて勉強する時間を増やしていかなければいけないと考えています。

◆人間関係上のトラブル

今年度は中学生を中心に人間関係上のトラブルが目立ちました。これもスマホの普及が原因の一つで、文章やスタンプによるコミュニケーションには慣れていて、実際に会話で行うコミュニケーション能力が乏しくなっているということなのではないでしょうか。当該生徒の話聞いてみると、最初は小さな誤解から始まっていることがとても多いです。考え方や価値観の違いをその生徒同士で解決することができず、別の友達に悪口のように相談してしまうことがきっかけとなり、誰かが嫌な思いをすることになっているみたいです。来年度は、コミュニケーションという側面から何か働きかけができないか、検討してみたいと思います。



ほけんしつから 養護教諭 野村めぐみ

●1年間ありがとうございました

皆様のご協力により、今年度を過ごすことができました。来年度もお子様たちの健康を願って動いていきたいと思っています。ありがとうございました。

保健室から・ありがとう!



●4年生保健委員が頑張っています

岩田学園の皆さんの健康のために、動いてくれています。保健委員の皆さん、いつもありがとうございます。今後も期待しています。



4月は提出物や学校行事が多い月になります。
何事もスタートが肝心、充実した春休みにしましょう！
輝ける未来に向かって、明るく元気に進みましょう！

第10回強歩大会 個人タイムランキング発表!!

去る2月9日(土)に実施された第10回強歩大会の個人ランキングです。なお、男子はおおよそ12km、女子はおおよそ10kmの距離で行われました。

男子全学年ランキング				女子全学年ランキング			
1位	5-3	原田 勝之	0:46:05	1位	4-3	栗林 璃奈	0:50:04
2位	3-2	原田 勝治	0:46:08	2位	2-2	栗林 杏奈	0:50:05
3位	3-3	奥 拳士朗	0:47:34	3位	2-1	高野 琉音	0:51:54
4位	4-1	二階堂 元暉	0:47:58	4位	2-2	朝久野 萌	0:53:14
5位	1-2	矢野 将	0:48:08	5位	5-1	辛島 菜々子	0:54:13
6位	4-1	佐藤 晃一	0:48:32	6位	5-2	高橋 まゆ香	0:54:58
7位	1-1	佐藤 雅元	0:49:29	7位	4-4	隈井 沙理奈	0:55:12
8位	5-1	工藤 傑士	0:50:16	8位	5-4	後藤 はる	0:55:18
9位	5-3	永松 駿人	0:50:29	9位	5-1	岩田 真依	0:55:46
10位	5-4	前田 悠成	0:51:24	10位	2-3	須川 菜々美	0:56:55

英語ディベート大会スナップ



保護者会主催 教育講演会が行われました

2/23(土)の3・4限の時間帯に、保護者会主催「教育講演会」が行われました。今年度は「ケータイ安全教室」としてNTTドコモからインストラクターの矢野様に来ていただき、今や本校でも約8割の生徒が所持する「スマートフォン」、また来年度から生徒全員が持つ「タブレット」について、保護者・教員として留意すべきことなどについて学ぶことができました。このような情報は「前に聞いたことがあるから」と安心せずに、常に最新のものに触れることが大切だと痛感させられた機会でもありました。

なお、御家庭でスマホに関わるトラブルにあった場合、以下の機関に御相談下さい。

【携帯電話やインターネット利用でのトラブルの場合】

① 24時間子供SOSダイヤル(大分県教育委員会)

TEL 0120-0-78310

*メールでの相談窓口 メールアドレス: no-ijime@pref.oita.lg.jp

② 大分県教育センター教育相談部

TEL 097-503-8987 (平日9:00~17:00)

【相談内容が犯罪に当たる可能性がある場合】

大分県警察本部

① 警察安全相談

<http://www.pref.oita.jp/site/keisatsu/anzensoudan.html>

TEL 097-534-9110 (平日9:00~17:45)

② サイバー犯罪対策室

TEL 097-536-2131 (代表) (平日9:00~17:45)

<http://iwata.ed.jp/>

ホームページやブログでCheck!

能力の差は小さいが
努力の差は大きい

脚力尽くる時、山更に好し。
輝ける未来へ、全力でサポートします!



March 2019 edition

大分市岩田町1-1-1

学校法人岩田学園

電話 097(558)3007

Fax 097(556)8937

Email iwata@iwata.ed.jp



21世紀の有為な人材を育成する

岩田中学校・高等学校